

プロ・フィール 表記統一表

(印刷物／ウェブ両用版)

プロ・フィール

2022年7月24日 改定

プロ・フィール 表記統一表 (印刷物/ウェブ両用版)

2022年7月24日 改定

※1) 下記内容以外は、原則として共同通信社『記者ハンドブック 第14版』に準ずるものとします。

※2) 用言(動詞、形容詞、形容動詞)のうち、動詞と形容詞は終止形、形容動詞は語幹を記載しています。また活用形(動詞の連用形がそのまま名詞として扱われているものを含む)の表記は、記載された各用言の語幹に準ずるものとします。例: 振る舞う → 振る舞い/つきあう → つきあい/引越す → 引越し/揺れる → 揺れ

読み	ルール				
	表記	品詞等	用例	使わない表記	備考
あいさつ	あいさつ	名詞		挨拶	
あいだ	間	名詞			
あいまい	あいまい	形容動詞		曖昧	複合語などでは適宜「曖昧」。例: 曖昧模糊/曖昧然
あう	会う	動詞	うわさの人に会ってきた/現場に立ち会う		
あう	合う	動詞	あの人は好み合う/お互いの気持ちを読み合う		サ変動詞「する」に後接する場合は「あう」。例: 協力しあう
あう	あう	動詞	ひどい目にあう/交通事故にあう/にわか雨にあう	遭う	
あえて	あえて	副詞		敢えて	
あかし	証し	名詞		証	
あきれる	あきれる	動詞		呆れる	
あげる	上げる	動詞	売り上げを上げる(=向上させる)/場を盛り上げる		
あげる	あげる	動詞	売り上げをあげる(=残す)/例をあげる/全力をあげる	挙げる	複合語では適宜「挙げる」。例: 重量挙げ
あずかる	預かる	動詞	貴重品を預かる/台所を預かる/預かり金		
あずかる	あずかる	動詞	ごちそうにあずかる/それは私のあずかり知らぬこと	与る	
あぜん	あぜん	形容動詞	彼の報告を聞いて、私はあぜんとした	啞然	
あたり	～あたり	接尾語	一人あたり500円いただきます	～当たり	
あたり	あたり	名詞等	マンションの3階あたり/原稿整理が終わったあたりで	辺り	
あたる	当たる	動詞	ボールがバットに当たる/宝くじに当たる		
あたる	あたる	動詞	講座の開始にあたって/彼の甥にあたる人/毒にあたる	当たる、中る	
あてはまる	当てはまる	動詞		あてはまる、当て嵌まる	
あてる	当てる	動詞	胸に手を当てる/探し当てる/当てが外れる		
あてる	あてる	動詞	この部屋を会場にあてる/剰余金の一部を建築費にあてる	充てる	
あと	後	名詞	～した後で/後がない/後押し/後の祭り		「あと一息」「あと3時間」などはひらがな書き。
あなた	あなた	代名詞		貴方、貴女、貴男	
あふれる	あふれる	動詞		溢れる	
あまり	あまり	形動/副/接尾	あまり寒くない/悲しみのあまり/1時間あまり話す	余り	

読み	ルール				
	表記	品詞等	用例	使わない表記	備考
あまり	余り	名詞	割って余りが出る／余りは貯金に回す		
あらためて	あらためて	副詞	あらためて確認する／あらためてお礼申し上げます	改めて	
あらためる	改める	動詞	気持ちを改めて取り組む／衣服を改めて外出する		
あららげる	荒らげる	動詞		荒げる	
ありがたい	ありがたい	形容詞	ありがたいお言葉	有り難い	
ありがとう	ありがとう	感動詞	ありがとうございます	有り難う	
ある	ある	動詞	あるとき払い／ありのまま／国のあり方	有る、在る	
ある	ある	連体詞	ある人がこんなことを言った／昔々あるところで	或る	
いいかげん	いいかげん	形容動詞／副詞	いいかげんな人物／もういいかげんにしてください	いい加減	入浴時のお湯の温度などでは「いい加減」。
いう	言う	動詞	あなたが言った(「say」の意の場合)	ゆう、云う	伝聞の場合はひらがな書き。例:その後、彼は姿を消したという
いう	いう	動詞	～といった具合に(「say」の意が薄れた場合)		
いえども	(～と)いえども	連語	エリートの彼といえども財務省で通用するかどうか	(～と)雖も、言えども	「言えども」は本来の表記ではない。
いかす	生かす	動詞	ノウハウを生かす	活かす	
いく	行く	動詞	学校へ行く／同僚と酒を飲みに行く		
いく	いく	補助動詞	考えていく／見ていく	行く	
いくさ	いくさ	名詞	16世紀の日本は、いくさの絶えない国だった	戦	
いす	いす	名詞	彼が用意してくれたいすに座る	椅子	
いたす	致す	動詞	彼の偉業に思いを致す／致し方ない		謙譲語の場合はひらがな書き。例:ご案内(を)いたします
いただく	いただく	動詞	プレゼントをいただく(「もらう」の謙譲語の場合)	頂く、戴く	「頭に載せる」の意の場合は「頂く」。例:雪を頂く高峰
いただく	いただく	補助動詞	考えていただく／見ていただく／お読みいただきたい	頂く、戴く	
いたる	至る	動詞		到る	
いちおう	一応	副詞		いちおう	
いちばん	一番	名詞／副詞	あの版元で一番の編集者／彼女の存在が一番大きい		教室の席順などは適宜「1番」。
いつ	いつ	代名詞／副詞		何時	
いっしょ	一緒	名詞		いっしょ、一所	
いっそう	いっそう	副詞	夜に入ると、寒さがいっそう厳しくなる		
いっそう	一層	名詞	もう一層上の人脈		
いったい	いったい	副詞	いったいどうなるか／いったい、いつまで待たせるの？	一体	「一体全体」では「一体」。
いったい	一体	名詞	地域と一体となった歩道除雪／官民一体	いったい	
いったん	いったん	副詞		一旦	

読み	ルール				
	表記	品詞等	用例	使わない表記	備考
いっとき	いっとき	名詞	目標を達成して、いっときの充実感に身を委ねる	一時	
いっぱい	いっぱい	形容動詞	いっぱいの人出／元気いっぱい／今月いっぱい	一杯	
いっぱい	一杯	名詞	帰りにちょっと一杯やっっていく／一杯食わされた		
いまだ(に)	いまだ(に)	副詞	原因はいまだに究明されていない	未だ(に)	
いや	いや	形容動詞		嫌	
いやがる	いやがる	動詞		嫌がる	
いやしい	いやしい	形容詞		卑しい、賤しい	
いらだつ	いらだつ	動詞		苛立つ	
いりぐち	入り口	名詞		入口	
いる	いる	動詞	きょうは朝から家にいる／こんなすてきな人がいたなんて！	居る	複合語では適宜「居る」。例：居心地
いる	いる	動詞	審査を受けるにはお金がいる／きょうの会議にはレジュメがいる	要る	
いろいろ	いろいろ	名/形動/副	いろいろな考え方	色々	
いわく	いわく	名詞／(副詞的)	いわくつき／彼いわく～とのことだ／いわく言いがたい	曰く	
いわれ	いわれ	名詞	いわれなき迫害／いわれのある建物	謂れ	
うえ	上	名詞	事情を説明した上で／その上、こんな出来事さえ起きた	うえ	
うかがう	伺う	動詞	お宅に伺う／お話を伺う／お見舞いに伺う		
うかがう	うかがう	動詞	顔をうかがう／機会をうかがう／窓から家の中をうかがう	窺う	
うけいれる	受け入れる	動詞		受け容れる	
うけとめる	受けとめる	動詞	彼女の言葉、そして気持ちを受けとめる	受け止める	
うずたかい	うずたかい	形容詞	会議室には、出版企画書がうずたかく積まれていた	堆い	
うそぶく	うそぶく	動詞	「そんな野心は僕にはない」と彼はうそぶく	嘯く	
うながす	促す	動詞			
うなづく	うなづく	動詞		肯く、頷く	
うまい	うまい	形容詞	彼は原稿整理がうまい／この店の料理はうまい	巧い、上手い、旨い、美味しい	
うらむ	恨む	動詞		怨む	
うれしい	うれしい	形容詞		嬉しい	
うわさ	うわさ	名詞		噂	
えいち	英知	名詞	この研究成果は人類の英知の結晶です	叡智、叡知、英智	
えぐる	えぐる	動詞		抉る	
えない	(～を)得ない	連語	国政について考えざるを得ない／値上げもやむを得ない	(～を)えない	

読み	ルール				
	表記	品詞等	用例	使わない表記	備考
えない	～えない	動詞	数字が目標に達しえない／こんな考え方はありえない	～得ない	
えらい	偉い	形容詞			「えらい格好いい」などではひらがな書き。
おいしい	おいしい	形容詞		美味しい	
おおいに	大いに	副詞	今宵は大いに飲み、語り合しましょう		
おおまか	大まか	形容動詞			
おおもと	大本	名詞	考え方の大本が間違っている		
おかげ	おかげ	名詞	上司のアドバイスのおかげで新規顧客を獲得できた	お陰、お蔭	
おきゃくさま	お客様	名詞		お客さま	
おく	おく	動詞	この問題に対処できるのは彼をおいてほかにはいない	措く、攔く	
おく	置く	動詞	テーブルの上にノートパソコンを置く／必要な人員を置く		
おく	おく	補助動詞	そのテーマで考えておく／せっかくだからもらっておく	置く	
おごる	おごる	動詞	おごる平家は久しからず／誕生日祝いに食事をおごる	驕る、奢る	
おしまい	おしまい	名詞		お終い、お仕舞い	
おそらく	おそらく	副詞		恐らく	
おそれ	おそれ	名詞	災害が起きるおそれがある	虞、恐れ	よくない物事が生じそうな場合に適用(△「可能性」)。
おそれ	恐れ	名詞	未知のものへの不安と恐れ		
おっしゃる	おっしゃる	動詞		仰る	
おとしめる	おとしめる	動詞		貶める	
おなか	おなか	名詞	きょうは朝からおなかが痛い	お腹	
おのず(と)	おのず(と)	副詞		自ず(と)	
おのれ	己	代名詞			
おびえる	おびえる	動詞		怯える、脅える	
おまえ	おまえ	代名詞		お前	
おもしろい	おもしろい	形容詞		面白い	
および	および	接続詞	文言チェックおよび事実確認は学界の専門家にまかせる	及び	
および	及ぶ	動詞	被害者の数は10人に及び、当局も調査に乗り出した	および	
おれ	おれ	代名詞		俺	
かかわらず	かかわらず	連語	受験に向けて勉強したにもかかわらず、不合格だった	拘わらず、関わらず、係わらず	「～に・にも」に後接する場合。漢字では「拘」となるが、表外訓なのでひらがな書き。
かかわる	かかわる	動詞	この件にかかわる人々／私にはかかわりのない人	関わる、係わる、拘わる	
かぎり	限り	名詞/(接続助詞的)	周囲を見た限り、不審な人物はいなかった		

◎表記統一表のアミがけ部分について

こちらの表記統一表では、特に注意したい項目を5種類に分けて、それぞれに違う色のアミがけを施してあります。以下、アミの色が示していることについてお伝えします（初出順）。

緑色

異字同訓など、読みと品詞が同じでありながら使い分けが必要な複数の言葉に関して、ひらがなの活用も含めて運用したい項目です。

ピンク

つい「うっかり」して、間違いが生じやすい表記です。

黄色

読みが同じで品詞が違う複数の言葉に関して、ひらがなの活用も含めて運用したい項目です。

オレンジ

上の黄色と共通性のある項目です。こちらは品詞が違うだけでなく読み（語形）も同一ではないものの、（動詞の「改める」と副詞の「あらためて」のように）派生の関係などにあり、ひらがなの活用も含めて運用したい項目です。

水色

異字同訓も含め、読みと品詞が同じでありながらも複数ある言葉に関して、表記をひらがなで統一したい項目です。

お礼

表記統一表の一部をご覧いただき、まことにありがとうございます。こちらは通常のテキスト制作で起こりがちな表記揺れをしっかりと防ぎ、文章品質を向上させていく上での基盤となるものです。表記を統一することの重要性については「表記統一のすすめ」ページ(<https://nihongo-otasukenin.jp/harmony.html>)でお伝えしておりますので、あわせてお読みいただけたら光栄に思います。

作成にあたっては私の現在までの校閲実務、および表記に関するコンサルティングや翻訳スクールでの講義等の経験に基づき、特に不統一が起きやすい語や漢字とひらがなの使い分けが問題となることの多い語を**頻度の高い順に選びました**(こちらは現在、私が表記に関するコンサルティングを行う際のベースとしているものです)。

印刷物／ウェブの両面にわたって使用できる、**汎用性を高めたバージョン**からその一部を示しましたので、ご参考としていただけたら幸いです。

プロ・フィール (Pro-Feel)

代表／日本語品質コンサルタント®

磯崎博史 Hiroshi Isozaki

電話：(03) 3334-6688 (土日・祝日を除く 10:00~19:00 受け付け)

E-mail：isozaki@pro-feel.jp

URL：<https://nihongo-otasukenin.jp>